



2023年 6月26日  
第227号

JR 東労組   
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実  
編集 情宣担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

# 6月23日 沖縄慰霊の日

6月23日は、20万人を超える方が犠牲となった沖縄戦の組織的戦闘の終了から78年目の「慰霊の日」でした。今年も、平和祈念公園内の「平和の礎」には沖縄戦に関連して亡くなったことがわかった365名の名前が新たに刻印され、未だに沖縄戦が終わっていないことを示しています。

慰霊の日には、恒久平和を願う「沖縄全戦没者追悼式」が、沖縄戦末期の激戦地となった糸満市摩文仁の平和祈念公園で、4年ぶりに一般参列者の参加のもと執り行われました。追悼式では沖縄県内の高校生が平和の詩「今、平和は問いかける」を朗読し、「先人達が紡いできた平和を次は私達が紡いでいこう」と力強く語るなど、さまざまな立場の方が平和の大切さや平和に向けての決意を語りました。玉城知事は平和宣言において「在沖米軍基地の更なる整理・縮小、日米地位協定の抜本的な見直し、普天間飛行場の一日も早い危険性の除去と早期閉鎖・返還、辺野古新基地建設の断念等、基地問題の解決」を強く求めました。岸田首相は沖縄の人々に、米軍基地の集中による大きな負担を掛けていることを重く受け止めつつ「目に見える成果を一つ一つ着実に積み上げ、基地負担の軽減に全力で取り組んでいく」と挨拶しましたが、沖縄県が求める名護市辺野古の新基地建設断念には言及しませんでした。

JR東労組は沖縄平和研修を開催し、軍隊は住民を守らないなどの戦争の本質や、平和の大切さ、また戦後から続く基地問題などを学んできました。しかし、沖縄本島を含む南西諸島に台湾有事を想定したミサイル配備などが急ピッチで進められ、また「沖縄戦」が繰り返されようとしています。そして、岸田政権が閣議決定した安保関連3文書により、沖縄だけでなく日本全体が「新たな戦前」になりつつあります。

私たちは、平和な社会を実現するために考え、行動しなければなりません。

今年は、長年に渡り横浜地本「沖縄平和研修」で講演をしてくださった、中山きくさんがお亡くなりになり、沖縄戦やアメリカによる占領統治時代を実際に経験した方々も少なくなってきました。いかに次の世代に語り継ぎ、同じ悲しみを経験することがないようにしていくかは私たちの課題です。

私たちが学んできたことを次の世代へ語り継ごう！  
仲間と共に平和な社会を実現しよう！